

総務省の内部文書（要旨）

総務省が7日に公表した、放送法の政治的公平性を巡る菅相直郎とのやりとりを記した内部文書の要旨は次の通り。（原書参照）

【2014年】

11月26日 磯崎陽輔
首相補佐官（職員）
から総務省放送政策課に電話。放送法の「政治的公平」について補佐官への説明を依頼。
「補佐官はTBSサンデーモーニングに問題意識がある」。

28日 磯崎氏が

総務省幹部に「一つの番組でも明らかにおかしい場合があるのではないか。考え方を聞かせてほしい」と掲示。総務省幹部に「今回の整理は（内閣）法制局に相談してこらのか？放送法の根幹に関わる話ではないか」「どのメディアも萎縮するだろう。言論弾圧ではないか」と懸念を示す。

12月25日 磯崎氏が総務省幹部に「知恵を出してほしい。一つの番組で政治的公平を欠くような『極端な事例』を考えて持つて来てほしい」と伝達。

13日 山田真貴 3月5日 山田秘書
子首相秘書官が総務省幹部に電話。安倍晋三首相に磯崎氏らが説明し、「総理からは政治的公平といふ趣向かい感じ、現在の番組にはおかしいものもあり、現状は正すべき」との意見があつたと伝達。

24日 「官房長官

11月26日 磯崎陽輔
首相補佐官（職員）
から総務省放送政策課に電話。放送法の「政治的公平」について補佐官への説明を依頼。
「補佐官はTBSサンデーモーニングに問題意識がある」。

2月13日 高市早苗
総務相が総務省幹部とべた総務省幹部に対しているのはNHKの「JAPANデビュー」だ。が、これは過去の話。糸井は「俺の顔をつぶす話」「俺の顔をつぶす」といふのがわかる」と発言。

2月13日 高市早苗
総務相が総務省幹部とべた総務省幹部に対しているのはNHKの「JAPANデビュー」だ。が、これは過去の話。糸井は「俺の顔をつぶす」といふのがわかる」と発言。

のではないか」「直郎さんは『総務相は準備をしづかだ』じゃあ済まない。眞が飛ぶぞ」などと発言。総務省もウオッシュしておかず、「なぜだらけやう」と発言。なきやだめだらう「あんまり無駄な抵抗はするなよ」と発言。9日 高市総務相が総務省幹部に「本当にやるの？」「民放と全面戦争になるのでないか」と発言。

9日 高市大臣室参事官から総務省幹部に連絡。「政治的公平に関する件で高市大臣から総理と電話（日時不明）」「総理から『今までの放送法の解釈がおかしい』との発言」。